演習編　９　地域の農産品と保護制度について

　農業高校に通う高校二年生のＡさんは、ある日新聞で地方創生の記事を読み、「食のブランド化」について興味を持った。調べてみると、地元の兵庫県市でも「食のブランド化」に向けた取り組みをしていることや、「ＧＩ制度」という制度があることがわかった。Ａさんは調べた内容をまとめ、クラスで発表することにした。次に示す【発表原稿の一部】および【資料１～５】を読んで、後の問いに答えよ。

【発表原稿の一部】

　私たちが住む豊岡市の「食のブランド化」に向けた取り組みを発表します。

　まず「食のブランド化」とは何かというと「食」に関わる産品などに付加価値を付けて都市部に売り込むための活動のことです。またそれを支える国の仕組みとして「ＧＩ制度」があり、豊岡市は「ＧＩ制度」には登録をしていないものの、「食のブランド化」に向けた産品として「コウノトリ育むお米」というブランド米を作っていることがわかりました。ご存じの通り豊岡市はコウノトリのする土地であり、それに配慮して減農薬・無農薬農法によってお米を作っています。早めに田んぼに水を張る「早期」、水を深く張って雑草を抑える「深水管理」、イネの生育途中に、田の水を落として地表を乾かし根に酸素を供給する「中干し」の延期、冬の時期に水を張る「冬みず田んぼ」により、減農薬・無農薬で環境に優しいお米を作ることができるとわかりました。

【資料１】ＧＩ制度とは

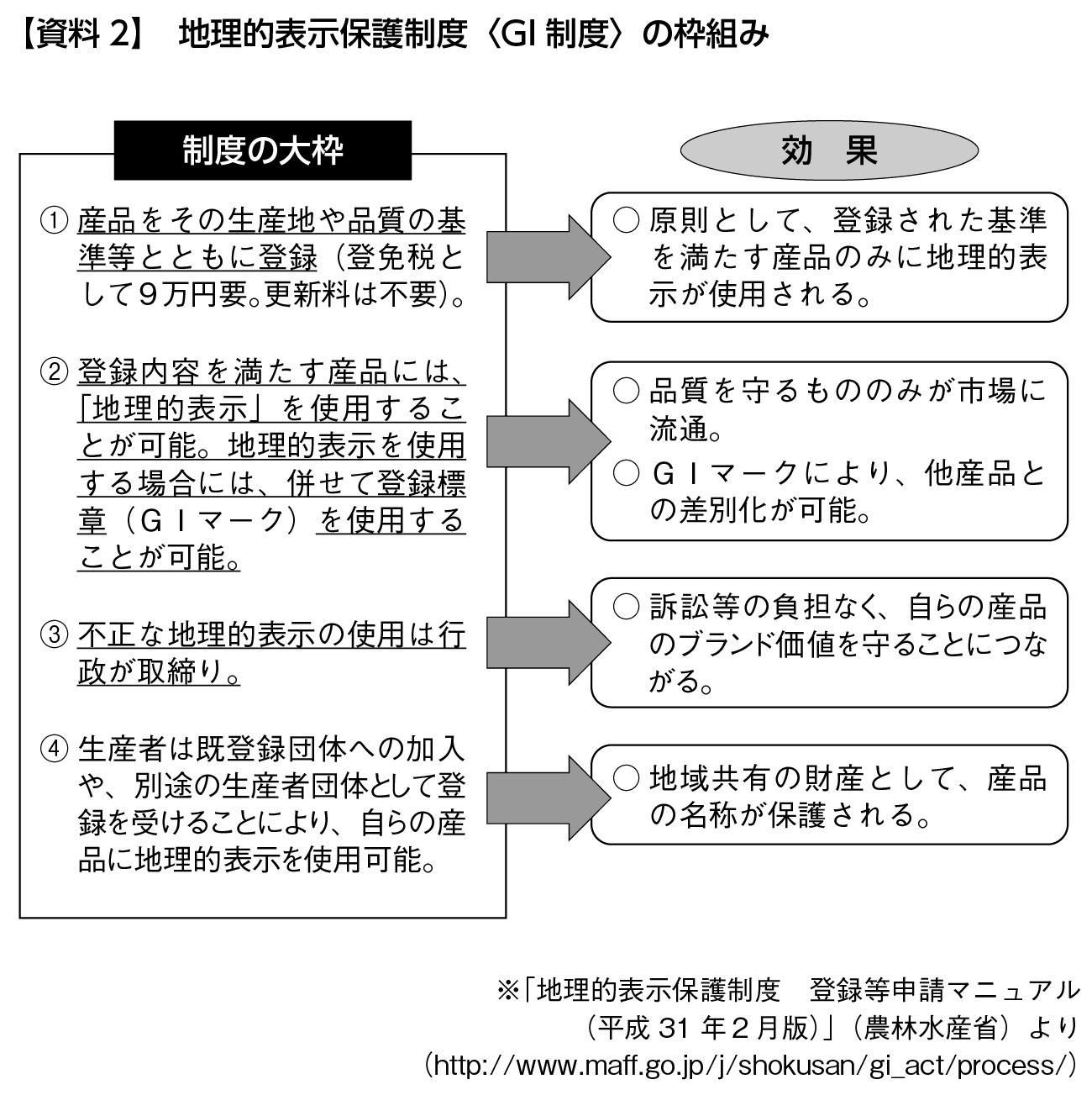
日本を始め世界中に、地域の自然条件や歴史・伝統と結び付いた特徴を有する、いわゆる地域ブランド産品が数多くあります。このような産品の名称は、その地名と結び付いていることが多いのですが、その産品の評価が高くなればなるほど、その地域と全く関係がない地域で作られた産品や、その産品の特徴を備えていない産品でも、その地域の産品であるような名前で販売されることが起こります。ＧＩ制度は、このような問題に対応するために設けられた、そのような産品の名称を知的財産として保護するための制度です。

※「地理的表示保護制度 登録等申請マニュアル

（平成31年2月版）」

（農林水産省）より

（http://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi\_act/process/）



問１　「ＧＩ制度」（【資料１】）とあるが、この制度は【資料２】の①～④の特にどの項目に対応しようとするものか。一つ選び、番号で答えよ。６点

［　　　　］



【資料４】コウノトリについて

コウノトリは、河川や沼地、湿原に生息する。日本では山に囲まれた水田や河川のある里地に生息してきた。魚類やカエル、水生動物やヘビ、昆虫を食べる。

日本では元々、広域に分布していたが、明治時代の乱獲により個体数は激減し、生息地が次第に狭まり、兵庫県の地方（豊岡市を含む）と福井県の地方を除いて絶滅した。さらにそれ以降、但馬・若狭地方でも営巣地の松林が伐採されたこと、戦後は農薬による獲物の減少などから生息数が減少し、餌が不足したことで野生個体群は絶滅してしまった。その後、海外から個体を譲り受け人工繁殖を繰り返すうちに個体数が次第に増え始め、野生へ戻す計画も実施され、二〇〇五年に最初の放鳥が行われた。

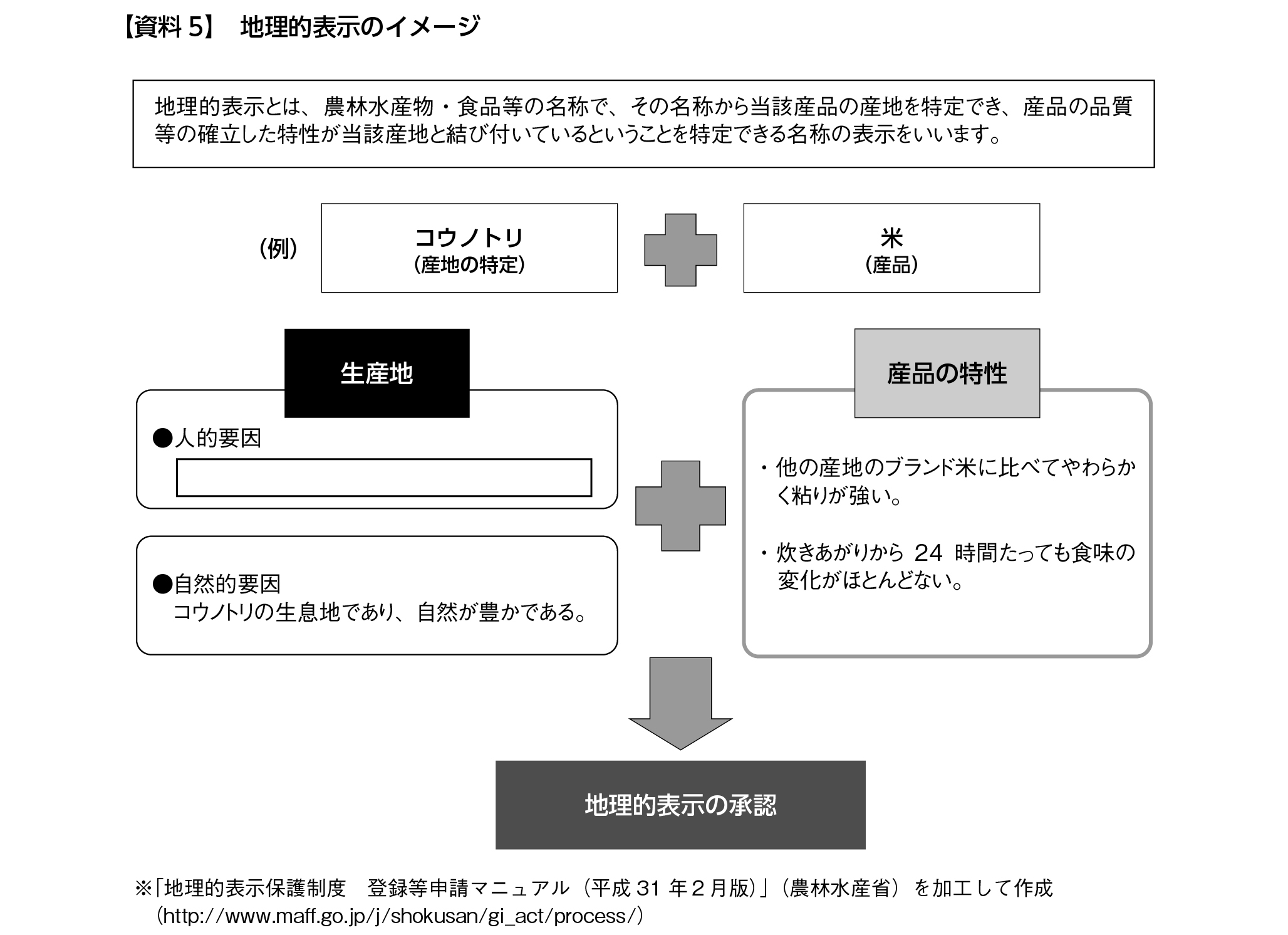
激減・絶滅の原因は先の農薬、乱獲、営巣地の伐採などに加え、湿原、池沼、ため池の干拓や河川改修、稲作の乾田化（冬季に水入れをせず乾燥した土地のままにすること）、水路のコンクリート化により、生息地や獲物が減少したことが挙げられる。

兵庫県豊岡市ではコウノトリの生息可能な環境を整備し、周辺の農家にも減農薬・無農薬栽培を奨励するなどの協力を呼びかけている。

問２　【資料２】の①の項目「産品をその生産地や品質の基準等とともに登録」とあるが、その趣旨に賛同して命名したといえるのが「コウノトリ育むお米」である。なぜこのような名称にしたのか。【資料３・４】を参考にしながら30字以内で答えよ。10点

［

］



問３　【資料５】の「人的要因」について、Ａさんは先生とともに「コウノトリ育むお米」にあてはめて考えた。

Ａさん　地理的表示は人的要因と自然的要因の二つが産地の特性であるということをまず示さないといけないんですね。

先生　そう。コウノトリ育むお米の場合、生息地の但馬地方の豊岡市であることがまず土地の特性であって、豊かな自然がそれの近因となっているんだ。

Ａさん　では、人的要因はどうでしょう。

先生　例えば、「トロトロ層」はこの土地特有のものではなく、人工的に水を張っているから、人的要因といえるんだよ。イトミミズなどを生息させることで細かい泥の層を作っているんだ。

Ａさん　つまり、［　Ｘ　］ということなのですね。

先生　そうだね。

Ａさん　人的要因は、他に無農薬、減農薬、化学肥料を使っていないこともありますね。

先生　たしかに。減農薬・無農薬で自然環境を整えることでコウノトリに必要な餌の確保ができ、生息を可能にするとも言えるね。

Ａさん　なるほど。だから産地が但馬地方の豊岡市など土地が限定されるというわけですね。

（ⅰ）ⓐ　【資料３・４】を活用しながら、会話中の空欄［　Ｘ　］に入る内容として最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。６点

ア　「トロトロ層」がイトミミズの生息によりそれを捕食する他の害虫を招いてしまう恐れもあり、無農薬栽培が実施できるか状況に左右されてしまう

イ　「トロトロ層」がこの土地に太古からあって、偶然水耕に適しているということがわかり、他の米の産地にはまねができない

ウ　「トロトロ層」が水を常に張っているので、植物性プランクトンも豊富で栄養価が高くおいしい米が収穫できる半面、雑草も生えやすくなる

エ　「トロトロ層」という細かい泥の層に水を張っているので抑草効果が高く、無農薬でも雑草に邪魔されることなく栄養が保持できる

［　　　　］

（ⅰ）ⓑ 　（ⅰ）ⓐで答えた選択肢を選んだ根拠はどこにあるか。資料番号を答え、資料内の該当箇所を25字以内で抜き出せ。５点＋８点

▽資料番号＝［　　　　］

▽根拠＝

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

（ⅱ） 　傍線部「自然環境を整えることでコウノトリに必要な餌の確保ができ、生息を可能にする」はどういうことか。【資料３・４】を踏まえて、「自然環境を整える」「コウノトリに必要な餌」の内容を具体的に示しながら、60字以内で説明せよ。２点＋３点＋10点

解答へのステップ

１　コウノトリの餌は何か、具体的に書いてみよう。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

２　コウノトリの餌が確保できる環境を整えるために、田んぼで行っている農法が四つある。早期湛水・深水管理以外の二つを抜き出そう。

［　　　　　　　　　　　　　　　］

［　　　　　　　　　　　　　　　］

３　解答の構成を練ろう。

　「２によって、１が確保され、コウノトリが生息可能になるということ」という形で解答をつくろう。

［

］

《解答・採点基準・自己採点表》

問１　③ ６点

問２　Ａ豊岡市の象徴であるＢコウノトリの生育可能な田んぼのお米だＣから。

（30字）10点

基準　Ａ＝３点〔「豊岡市が整備した」でも可〕

Ｂ＝６点〔「コウノトリが生息可能な」でも可〕／Ｃ＝１点

問３　（ⅰ）ⓐ　エ ６点

ⓑ　▽資料番号＝３ ５点

　　　　▽根拠＝豊富なトロトロ層と深水管理は抑草効果が高い。（22字）

８点

基準　抜き出しなのでこの解答例以外は原則認められない。（「豊富な」がない場合は３点減。）

（ⅱ）解答へのステップ

１魚類やカエル、水生動物やヘビ、昆虫 ２点

２中干しの延期・冬みず田んぼ ３点

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **正**  **答**  **例** | ②中干しの延期や③冬みず田んぼによって、④水生動物や昆虫などのコウノトリの餌が確保され、生息が可能になるということ。（①55字） | | |
| **正**  **答**  **の**  **条**  **件** | 正答の条件は次の４つとする。 | | **チェック欄** |
| ①60字以内で書かれていること。 | |  |
| ②自然環境を整える方法として「中干しの延期」が挙げられていること。 | |  |
| ③自然環境を整える方法として「冬みず田んぼ」が挙げられていること。 | |  |
| ④「水生動物や昆虫などのコウノトリの餌が確保され、生息が可能になる」ということが書かれていること。 | |  |
| **解**  **答**  **類**  **型** | ａ | 条件①～④のすべてを満たしている解答 | 10点 |
| ｂ | 条件①④を満たし、②③のいずれかを満たしている解答 | 8点 |
| ｃ | 条件①②③を満たしている解答（④は満たしていない） | 6点 |
| ｄ | 条件①を満たし、②③のいずれかを満たしている解答  （④は満たしていない） | 3点 |
| ｅ | 上記以外の解答／無解答 | 0点 |

３